

特に明記されていない限り、ROMANS 1. 16-32 (NASB)

OIC さん、おはようございます。今朝も私はローマの教会に宛てたパウロの手紙の意味を伝えるために働き続けます。これは、著者が意図したこと、つまり神が聖書の中で語っていたことを詳細に引き出したり暴露したりしようとするため、説明的説教と呼ばれます。

私が先週の 16 節を繰り返したのは、文脈の中で 17 節を強調するため、また、「天からの啓示」に関する 18 節との興味深い相関関係を示すためです。

ローマ人への手紙 1. 16 というのは、私は福音を恥とは思っていません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人を含め、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。パウロが異邦人の世界に強い影響を与えたのは、彼が主要テーマをシンプルに保ったことにありました。先週の日曜日に述べたように、彼は人間の罪の問題と唯一の治療法である御子イエスによる神の解決を宣言していました。それから彼は、エルサレムの十字架でのイエスの犠牲の死に対する人の信仰、あるいは信仰の欠如を宣言するために、しかし決して自分の使命を犠牲にすることなく、詳細な意味とサブテーマに踏み込みました。それによって、人はどこで、永遠を過ごすことになるかが決まります。彼はまた、このことをコリントの人々に強調しました (1 コリント 2. 1-3)。1 兄弟たち、私があなたがたのところに来たとき、私は言葉や知恵が優れていて、あなたがたに神の証しを宣べ伝えたわけではありません。2 なぜなら、私はあなたがたの間で、イエス・キリストと十字架につけられたイエス・キリスト以外には何も知らないと決心したからです。3 そちらに行ったとき、私は弱り、恐れ、激しく震えながら、あなたとともにいました。

彼の手紙を読むとき、ギリシャ語とヘブライ語という人間の言語を多用する彼の多大な使用は、私たちに感銘を与えるかもしれません。しかし彼は、キリストの十字架のメッセージにその力があることを全世界が知っているのもあって、それを宣べ伝える人々ではない、と決心した。

男性は、自分たちの救いのために、複雑なルールや理論を備えた、より魅力的でエレガントなものを求めることがよくあります。彼らが独自の正しい考えから構築したデザイン。神は彼らを救うために、ご自分の愛する御子を単純かつ血の犠牲として捧げられました。パウロは人間の罪の問題に対する神の単純な解決策を恥じませんでした。

17 それは、信仰から信仰へと神の義が明らかにされるからです。「しかし、義人は信仰によって生きるものとする。」と書かれているとおりで。ローマ人への手紙の中でパウロは、神がイエスを犠牲の死の後によみがえらせた信じ、クリスチャンになるために必要な信仰を宣言しています。(ローマ人への手紙 1. 4) 「... 死者の中からの復活によって力を持つ神の子と宣言された者。」

ローマ人への手紙 1. 17 はまた、救いの力は再生のために罪人の中で働き始め、その後、聖人、聖なる者の中で働き続けることを明らかにしています。この力は、地球上での生涯を通して持続しなければなりません。新生クリスチャンにおける神の継続的な働きは信仰から信仰へと行われ、新生クリスチャンもまた、特に自分の魂や心の中で、信仰から信仰へと働きを行います。しかし、イエスは常に私たちと共にいて、私たちの十字架のより重い側面を背負ってくださいます！

経験的なクリスチャン生活とは、信仰によって生きるときにイエスが私たちとともにおられることを意識することです。信仰によって生きることは、日常生活における神の臨在や強力な影響の経験に反するものではありません。使徒パウロの証言には、ユダヤ人の彼を殺害する計画を聞いた彼の友人たちが、彼をダマスカスの壁の上の籠に乗せて逃亡させたことが含まれています（使徒行伝 9. 24-25）。私たちキリスト教徒はそれらの経験を摂理と呼んでいます。これらは、パウロの逃避として素晴らしいことかもしれないし、混雑した街で駐車スペースを確保するために祈るような小さなことかもしれません。重要なのは、神があなたの声を聞いて行動することを選んだということを知ることです。

神の言葉である聖書を信じ、生活の中でイエスを個人的に体験することによる神への信仰の緊張感、クリスチャンとして成熟することの一部です。信仰に対して信仰によって生きるということは、たとえイエスの個人的な行動を経験しなくても、イエスを私たちの人生の主であると信頼することを意味します。神は私たちの信仰が続くよう助けてくださいますが、私たちの経験が神の約束に反する場合に、私たちがイエスの近くに留まり続けることを選択するかどうかを試すことがあります。したがって、私たちは信仰から信仰へと生きていく中で、イエスとのユニークな経験を期待することができます。しかし、私たちはそれらを要求することはできません。

V. 17 の意味に関するもう 1 つの助けは、旧約聖書の参照に示されています。

しかし、義人は信仰によって生きなければなりません。（ハバクク書 2. 4）。ここでの旧約聖書での言及は、

「見よ、高慢な人は、
彼の魂は彼の中に正しくありません。
しかし義人は信仰によって生きるのです。」

ハバクク書を通してみことばは、信仰によって生きることとプライドが争うことを警告しています。サタンの高慢さにより、彼は神よりも上に立つために反逆するようになり、その結果、天で戦争が起こり、サタンは天から追放されました。彼は「空中に勢力をもつ者」として地球上で大きな力を持っています。（エペソ人への手紙 2. 2）彼はイエスに守られていない者を食い尽くそうと地球中を歩き回っています。男性の誇り、つまりハバクク書の「誇り高き者」は、「私は準備万端です！」と言います。私が公の場で福音を分かち合うとき、この牧師に言います。この高慢な人は神に対して正しくない魂を持っています。彼は私が彼に伝えただけのイエスの福音を拒否しました。彼は神を必要としないという誇りを持って、主であるサタンに従い続けることを選択します。

神はクリスチャンに、信仰の賜物によって積極的に生きるためにライフスタイルと優先事項を選択することを求めています。あなたにはっきり言っておきたいのは、信仰によって生きるということは、私たちが心から、あるいは内面から努力することであり、それをうまくやることではないということです。神は、私たちが生きたいと願う信仰がどれほど弱いかをご存知です。パウロはテモテの指導者、つまり先生だったので、彼に次のように教えました（2 テモテ 2.13） - 私たちが不忠実であっても、神はご自身を否定することができないので、神は忠実であり続けます。

したがって、私たちの信仰は私たちの信仰ではなく、神にある必要があります。

不信仰とその結果

パウロの手紙の次のセクションは、NASB では「不信仰とその結果」、NLT では「罪に対する神の怒り」というラベルが付けられやすいかもしれません。

ローマ人への手紙 1.18 啓示 - 神は御子イエスを通して救いを明らかにするを選びました。17 節は、神の義は信仰から信仰へと明らかにされると宣言しています。この信仰はイエス・キリストを通して神にあるのです。このようにして人はイエスへの信仰を通して神の義にあずかるのです。信仰の終末、つまり終末論的な概念は、信仰から信仰への継続の中に見られます。このように、信仰によって生きる人々の中に、神の臨在が現に現われており、来世（死後）には天国で終わるのです。

神は人類に対する怒りも明らかにしました。信仰の賜物を拒否した人は、現世で神の怒りを経験し、来世（死後）では火の湖（燃える硫黄）での永遠の死を経験することになります。

(黙示録 20.15)...そして、もし誰かの名前がいのちの書に見つからなかった場合、その人は火の湖に投げ込まれました。

破壊と死をもたらす自然災害がこれほど多いのはなぜかと人々が、たとえキリスト教徒であっても不思議に思っていることに私は驚かされます。**聖書とローマ人への手紙 1.18-32**には、これらの出来事は罪深い人類に対する神の怒りであると書かれています。パウロは神の性質と本性についてのこの真実をローマの教会に突きつけ、それを神に対する人間の本性と関連付けます。私たちは、人間の罪の問題、つまり神からの分離を解決するための犠牲である御子の賜物によって、神の憐れみが人類に示されるのを見てきました。しかし、信じる私たちに温かく慰めを与えてくださるこの神は、信じない罪に満ちた世界に対して怒りを解放してくださるのです。

信仰によって生きる信者の人生には、すでにイエスを通して神からの祝福が与えられています。未信者の人生にはすでに神の裁きがあり、神は存在しません。そして、まだ始まっていない神の最後の裁きが、火の湖に投げ込まれます。

神の裁きを示す旧約聖書の歴史の一部は申命記 32. 1-39 にあります。ここで神はイスラエルのためにモーセに歌を与え、カナンに入るエジプトのような偶像崇拜に戻らないよう警告し、神の民に対する神の栄光の備えを与えています。

32 節で、神は彼らに罪に対する怒りを思い出させます。

「さあ、私が、私が彼であることを見てください。

そして私のほかに神は存在しません。

殺し、命を与えるのは私です。

私は傷つけ、そしてそれを癒すのは私である、

そして、わたしの手から救い出すことができる者は誰もいない。

神格のどの人格にも、父、子、聖霊の三位一体すべてに、怒りを含む属性は存在しません。イエスは、私と父は一つであると言われました。（ヨハネ 10. 30）したがって、イエスは約 4,000 年前にモーセに言われたのと同じように、今日もこう言われます。

殺し、命を与えるのは私です。

私は傷つけ、そしてそれを癒すのは私である、

神が最後の審判を保留しているので、これは恵みの時代です。したがって、神の優しさは、失われた人々に対して、これらの罪人をイエスのもとに引き寄せていることがわかります。しかし、私たちはイエスが自分の犠牲を受け入れることを拒否する人々に永遠の滅びをもって裁かれることを忘れていません。

時の終わりに世界を裁くために戻ってくるのはイエスであるということも覚えておいてください。

「恵みの時代」は終わり、神の救いの書は閉じられます。（Rev 19. 11-12）を読みます：

すると天が開け、そこに白い馬が立っているのが見えました。その乗り手は、公平に判断し、正義の戦争を遂行することから、「忠実で真実」と名付けられました。12 その目は炎のようで、頭にはたくさんの冠がありました。彼には自分以外の誰も理解できない名前が書かれていた。

クリスチャンの皆さん!!!... イエスが私たちの救いを買ってくださったということをローマ人への手紙 5:9 で知っていると、私たちは慰められます---

まして、私たちは神の血によって義とされたので、神を通して神の怒りから救われるでしょう。しかし、世界のほとんどの人は神の子であるイエスを拒絶し続けています。キリスト教徒の中には、サタンに騙されて、世界にもっと活発な宗教が存在するのは良いことだと考えている人もいます。聖書は、キリスト抜きで人間によって発明された宗教は、聖なる神に対するあからさまな偶像崇拜であることを明らかにしています。聖書の使徒行伝 4. 10-13 で宣言されているとおり

10 あなたがた全員とイスラエルのすべての人々に知らせてください。あなたが十字架につけ、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの名によって、この人はこの名で、ここに健康であなたの前に立っているということです。 11 彼は、建設者たちよ、あなたがたに拒否された石ですが、隅の主要な石になったものです。 12 そして、他の誰にも救いはありません。なぜ

なら、**私たちが救われるために**人間の間に与えられた名前は、天の下に他にないからです。」

繰り返しますが、キリストの千年前、詩篇 2 章 10-12 節は、安全は御子のうちにのみ得られるという警告を宣言しています。

したがって、王たちよ、今こそ識別力を示してください。

地球の裁判官たちよ、警告してください。

11 畏敬の念を持って主を礼拝しなさい

そして震えながら喜ぶ。

12 御子に敬意を表しなさい。御子が怒らないように、そうすればあなたは途中で滅びます。

神の怒りは間もなく燃え上がるかもしれないからである。

彼に避難する人は皆、何と幸いなことでしょう。

旧約聖書のこれらの引用から、ローマ人への手紙 2 章がユダヤ人の信者を驚かせるはずがないことは明らかですが、異邦人は新しい主イエスの裁き側の啓示に多少ショックを受けたと思われる。

この混乱の一部は、**神の望みが必ずしも神が得られるものであるとは限らない**ことに気づいていないことです。そうです。数日前、娘のテレーズがこのことを思い出させてくれました。私たちがここで期待していた多くのことは起こりませんでした。その中には、ペットの猫のスコッティも一緒にいました。私たちは彼が故郷への思いをここに残しておくためにここに来てくれることを期待していました。14年間ペットを愛したからといって、それ自体がペットを連れて行ってくれたわけではありません。同様に、人類に対する神の愛は、それ自体ですべての人間を神のもとに連れて行ったわけではありません。

ペテロ第二 3 章 9 節には次のように書かれています。

主は、遅いと言う人がいるように、約束を遅らせるのではなく、あなたに対して忍耐強く、一人も滅びることを望まず、すべての人が**悔い改めに来る**ことを望んでおられます。

神は望んだものや望んだものを手に入れられませんでした。なぜなら、聖書は、キリストを拒否することによって多くの人が滅びると述べているからです。多くの人は悔い改めず、神によって裁かれるでしょう。**神も、望むものをいつも手に入れられるわけではありません。**

18 節。人間のあらゆる不敬虔と不義に対して啓示されます。私たちは、「**神の怒りを神の基準ではなく自分の基準で判断する**」傾向があることを認識しなければなりません。私たちクリスチャンはキリストによって正義を帰属させてきましたが、罪の巨大さと邪悪さを理解する能力はほとんどありません。私たちからそれを取り除くには、神の御子の十字架の犠牲が必要でした。私たち定命の者は、イエスを拒否した人々に対する公正かつ公正な支払いをどうやって測ることができるでしょうか。神は、ここ 18 節で、不敬虔と不義という 2 つのカテゴリーに分けて罪に対して怒っています。不敬虔とは、敬意の欠如、つまり無視だけでなく反逆においても人々を神に敵対させる不敬虔のことを意味します。

不正または邪悪とは、他の人間に対するその人の行為に関連した不正義を意味します。(EBC)。

イスラエルの歴史における神の怒りについて説明している聖書をいくつか見てみましょう。預言者エゼキエルは、神の御霊の「熱さ」について語っています。これは、イスラエルの人々の罪に対する神の正義の怒りを表しています(エゼキエル 3:14)。 **14**そして私は激怒して憤慨し、主の手は私に強くなりました。ここでのヘブライ語はカーアスであり、人を怒らせるという考えを表し、「怒る、いらいらさせる」と訳されることもあります。(M&M) この用語は一般に、神の民に対する、通常は偶像崇拝に対する神の怒りを伝えます。神の預言者との関係により、彼らの魂の中で神の感情が共有されることに注意してください。エゼキエルは、自分の間違いではなく、神の感情に対する人間の霊の激怒に憤慨しました。神は、ご自身の感情を分かち合える信頼できる人間を望んでおられます。私たちもそうです。私たちは神の似姿に造られており、神にも感情があることを覚えておく必要があります。

すべての親は、不従順な子供たちによって怒りを引き起こされたときにカーアスを経験します。同様に、私たち {クリスチャン} も、罪や現代の形の偶像崇拝に誘惑されると、神の怒りを引き起こす可能性があります。しかし、私たちは、神を神として認める神の子供たちによって引き起こされる神の怒り(カーアス)は、神の存在や神の御子の犠牲を認めることを拒否する人々に対する神の怒りとはほとんど似ていないという重要な点を指摘しなければなりません。ここローマ人への手紙には、神の子ではない人々に対する神の怒りが見られます。

節 18 ... 真理を不義で抑圧する者たち ... これは、彼らが無知であるだけでなく、無知が救いによって報われることは決してないが、天からの真理として認識したものを意図的に抑圧していると述べています。

(注 - パウロがこの聴衆に最もよく知っていたヘブライ語の伝統的な説教では、一般的な神学の用語を種の男性に置きました。) このように、これらの人々は

R. 19-20 ここで神は、私たちが幼い頃から感じていたことを教えてください。私たちは創造主によって造られた素晴らしい宇宙に存在しています。神はまた、あらゆる文化のすべての人々も、自然によって明らかにされたこの真実を感じていると宣言しています。ダビデ王は聖霊の靈感を受けて、**詩篇 19 篇**にこの歌を書きました。

1 天は神の栄光を伝えています。

そしてその広がりには神の手の働きを告げ知らせている。

2 日々、言論があふれ出し、

そして夜ごとに知識が明らかになります。

3 言葉も言葉もありません。

彼らの声は聞こえません。

4 彼らの列は全地に広がり、

そして彼らの発言は世界の果てへ。

その中に神は太陽を照らす天幕を張られました。

詩篇 19 篇と 19 節: 神は彼らにそれを明らかにされたからです

R. v. 20 の作成にはクリエイターが必要です。聖書は、神がこのことを子供たちや男性に伝えたのを見逃さなかったと述べています。

私は都市部で育ちましたが、10代以前の多くの時期を都市外の池や湖で釣りをして過ごしました。私の自然への愛は強いです。しかし、都市の内部であっても、天は神の栄光を宣言しています(詩篇 19.1)。それは誰の目にも明らかです。私も壁に地図を貼って台風の追跡を描くようになりました。1950年代に多くの被害がボストンを襲った。この力強さの感覚は、雷雨や竜巻でも私を興奮させます。私の神は強力です。神が私の内にイエスを明らかにしてくださったことにとっても感謝しているので、私は永遠に神の力を誇りに思います。しかし、私がキリストを受け入れる前に、自然は私に神を信じさせました。もし私がキリストを拒否していたら、私が畏敬の念を抱いていたこの力は私に向けられることになるでしょう。私はイエスを信じていますが、この考えは私の魂を感謝の念に目覚めさせます。したがって、私はここでの声明を個人的に感じるすることができます。つまり、彼らには言い訳の余地がありません。

神が彼らの罪を呼び掛けているので、今、非難は山積しています。ノアの箱舟に由来し、神を知っていた人々が偶像崇拝の宗教を創設したことから、世界の社会におけるこの墮落が見られます。彼らは悪い方からさらに悪い方へと進み、その後の数世紀の歴史の中で「異教」の宗教になりました。21-23 節で説明されているように、彼らは賢明であると公言しながら愚か者となり、朽ちない神の栄光を神の像と交換しました。腐敗した人間、鳥、4フィートの動物、這う生き物の姿。

R. 24-25 完全な偶像崇拝の結果は、完全に墮落した人間の解放となった。神が彼らに与えたという言葉は、彼らが神の忍耐の限界を超えるまで、神が彼らの邪悪な本性を押し戻そうとしたことを明らかにしています。創造主ではなく被造物に仕えることは、神によって創造された動物、または動物で作られた像を崇拝することになります。

さて聖書は、同性愛の罪が偶像崇拝の罪からどのように始まったかを語っています。26 節では、神は女性も男性も、彼らを同性愛の情熱に引き渡したと言っています。これは人間の選択ではなく、異教のお祭り騒ぎにおける人類に対する神の裁きです。同性愛および品位を傷つける行為には当然の罰則があります。この千年紀の聖書研究者はエイズについて考えるでしょう。エイズは同性愛者を介して世界的に蔓延した。一度導入されると、ウイルスは異種間の性行為によっても運ばれます。身体的な病気に加えて、真の科学は、同性愛者として行動する同性愛者は自殺することが多いと報告しています。神がどのような刑罰を定めたとしても、それは神の似姿に造られた人間による、自然に対する品位を傷つける行為によるものでした。

注：ローマ人への手紙は、神を拒否し続ける人々に対する裁きを宣言しています。この本の後半で、パウロは、古い賛美歌(主を讃えよ、地にその声を聞かせよ)にあるように、最も卑劣な犯罪者が心から信じる者であり、その瞬間にイエスから赦しが与えられることを明らかにします。しかし、私たちは不信仰の継続の結果を読んでいきます。

R. 28。 原文のギリシャ語：彼らはもはやイエスを認めることが適切ではないと考えたので、神はもはや彼らを認めないことが適切であると考えた。 罪人であっても、内面の墮落によって内面から破壊されないようにするために、神の何らかの影響を受けていることは明らかです。 今、神はそれらを与え、その結果、決してしてはいけないことをもたらしています。(NLT)

パウロは聖霊の靈感を受けて、その結果生じる行動のリストを列挙しています。それは、罪、貪欲、憎しみ、ねたみ、殺人、口論、欺瞞、悪意のある行為、そして噂話など、あらゆる種類の邪悪な行為に満ちています。 & v. 30 裏切り者、
神を憎み、横柄で、高慢で、自慢している...新しい罪の仕方を発明し、親に従わない。 31 節 理解しようとせず、約束を破り、無情で、容赦がありません。

今、神に対する彼らの立場の悲しみは、罪人だけでなく、反キリストの場所となっています。

Rv. 32

彼らには、一部の人のように無知を弁明する機会さえありません。 彼らは自分たちが何をしているのか知っています。 彼らは裁きを笑い、死に値する。 それでも彼らは、とにかくそれを実行し、彼らの邪悪なチームに加わるよう弟子を作ります。 最近のアメリカのテレビメディアのゲイまたはLGBTQ コミュニティに関するニュース番組では、未成年者を強制的に収容所に押し込む攻撃的な同性愛行為が報じられています。 すべての社会における悪の範囲は、この例よりも広いかもしれません。 しかし、悪魔の子供たちは攻撃的であり、アメリカでさらに多くの魂を破壊するまで休むことはありません、そして私は確信しています、ここ日本でも同様です。

明らかにされた救い - 信仰から信仰へ 神からの約束は、たとえ私たちの周りの世界がどれほど悪であっても、私たちの救いは天国で安全に保たれているということです。 救いに至る私たちの啓示の最終章は、イエスに会うということです。 私たちは、この事実が真実であることを知って、信仰を信じ続けます。

啓示された裁きと啓示された救いは、テサロニケ人への手紙第二 6-10 節に並行して記されています。

信仰から信仰へと生きるクリスチャンへの最終章は、再臨されるイエスに会うということです。

6 結局のところ、あなたがたを苦しめている人々に苦しみをもって報いるのは、神にとって正しいことなのです。 7 そして、主イエスとその強力な天使たちとともに燃える火の中で天から現される時、苦しんでいるあなたがたを、また私たちをも救ってくださるのです。 8 神を知らない者たちと、私たちの主イエスの福音に従わない者たちに報復を加えます。 9 これらの者たちは、主の臨在とその力の栄光から離れて、永遠の滅びの刑罰を支払うことになるでしょう。 10 その日に主が来られ、その聖徒たちによって栄光を受け、信じたすべての者の中で驚嘆されるとき、あなたに対する私たちの証言が信じられたからです。

ローマ書にあるこれらの言葉は、失われた人類に対するパウロの重荷、あるいは義務を分かち合う

よう私たちを鼓舞するはずです。彼はこれらの聖句が真実であり、罪人にイエスの福音が与えられない限り人類は滅びる運命にあることを知っていました。パウロはそのために召されており、私たちも同様です。キリストのいないこれらの人々は、罪を悔い改めてイエスを信じなければ、永遠の炎に送られるでしょう。私たちはキリストを拒絶し続けることを選択した人々を軽視してはなりません。私たちはイエスの超自然的な愛が彼らの頑なな心を打ち砕いてくださるよう祈らなければなりません。私たちが祈るなら、神は私たちに変化をもたらす機会を与えてくださいます。

参考文献

(EBC) 解説者による聖書解説 (要約版): 新約聖書の著作権 2004。

(M&M) Mounce の旧約聖書および新約聖書の単語の完全解説辞典、著作権 © 2006 by William D. Mounce

(NASB) 新しいアメリカ標準聖書 1995 ロックマン財団

(NLT) 聖書、ニューリビング翻訳、著作権 © 1996、2004、2015 ティンデールハウス財団。